



広報

こひがわ

6月1日

昭和55年(1980) No.618

編集

越谷市役所企画部広報課



しらこばと職業センターに 花が咲いた



この10数年の越谷の変わりようには驚きますよ、と大越さん

堤の桜は「頃咲くのがなあ」と語り合へ、いつしか話にも花が咲き、誰が植樹したのか、偉い人が越谷にいるものだと感心もし、また、興味もわいてきました。

「桜に詳しい人がいるよ」と友人からの連絡で、迎賓館を訪

オープンして1か月が過ぎたしらこばと職業センター（精神薄弱者授産施設）を花で飾ろうと、先月26日、県内の農業後継者たちで組織しているFMC（フラワー・メイト・クラブ）の会員7名がボランティア活動として、花の苗約200本を持って同センターを訪りました。

入所者たちは、センター職員やFMCの青年たちと一緒に色とりどりに咲いたガーベラやダリアなど7種の季節の花を玄関前や庭に植え、土にまみれて楽しい一日を過ごしました。

新名所桜堤に思う

谷中町二の丸の六
おおこししょうじろう
大越昭二郎
(52歳)

れ、ご住職さんと神明町の桃木さんを紹介されました。

お話をすると、今から四、五年前

宮本町（当時四丁野）の大野真人さんを蒼賀根の堤岸から鴨場までの両岸に、商工会の協力を得て、多くの方々の善意の手で、年がかりで植樹したそ

うです。北越谷側の土手に立札がある

とのお話なので、尋ねてみました。風

が強く、かたむけの葉がめぐるみはじめ、ポンポリに灯がともり、ぱたぱた

ゆれていました。立札には

元荒川堤桜並木の由来

この桜並木は昭和三十一年草町、大野真人氏が当時越谷商工と相計り桜並木二〇〇本を寄贈。神明町桃木源之助氏他八名の労作により元荒川两岸に植樹したものであります。爾来越谷市、越谷商工会、越

所用があって土手を通りかかり、明るいポンポリの下で、カラオケでおみきがまわり、せらぎの生活のフトコロも忘れて、夜桜見物を楽しんでいる人の姿を見るにつけて、故大野さんをはじめ越谷の先人の方々の心豊かな思いやりに感謝していくときです。

越谷市観光協会
北越谷桜並木保存会
昭和五十四年四月

越谷とわたし

50 ◆◆

「越谷とわたし」は、あなたのコーナーです。みんなさんの投稿をお待ちしています。字数は900字程度です。

広報課

6月は市税の第1期の納期です。納期限内納付にご協力ください。納税通知書等は6月中旬に発送されます。

